



BV-C2950

ESD 可視化カメラ

生産現場における ESD（静電気破壊）のモニタリングに威力を発揮する超高感度カメラ

プリズム分光イメージング技術を採用した ESD 可視化カメラ、BV-C2950 は製造現場での静電破壊の発生を監視するために最適です。

BV-C2950 は放電時に発生する近紫外光を超高感度カメラで撮像し、100 ボルト程度からの低電圧レベルの放電現象がいつ、どこで発生したか、モニタリングすることができます。



BV-C2950 はセンサを 2 種類搭載しており、一つは可視光の映像を、もう一つは放電現象を撮像します。そのためミラーを採用した分光イメージング技術を使い、400nm から 700nm の可視光と、200nm から 400nm の近紫外光領域とに分光しています。使用しているセンサは、可視光には 640x480 画素のセンサ、紫外光領域には超高感度 UV センサを採用しております。同一レンズで同じ視野で二つの映像を撮像しますので静電破壊の発生点を正確に知ることができます。

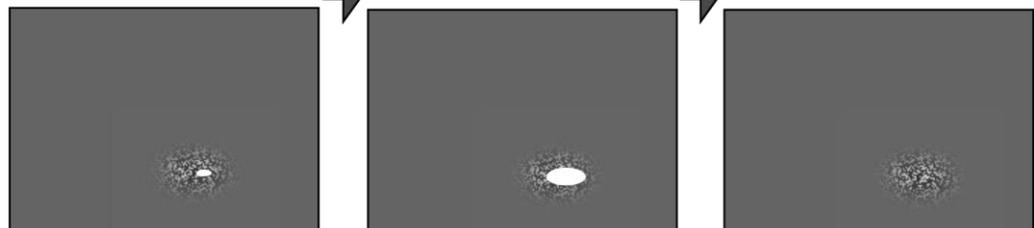
ESD とは、静電気の放電による破壊を言い、この時 200nm～400nm（UV-B）付近の近紫外光を発生します。この時発生する光のエネルギーは非常に小さく、これを検出する手段として超高感度 UV センサを使用しています。

撮像のイメージ

可視光の
イメージ



放電現象の
イメージ



主な応用例

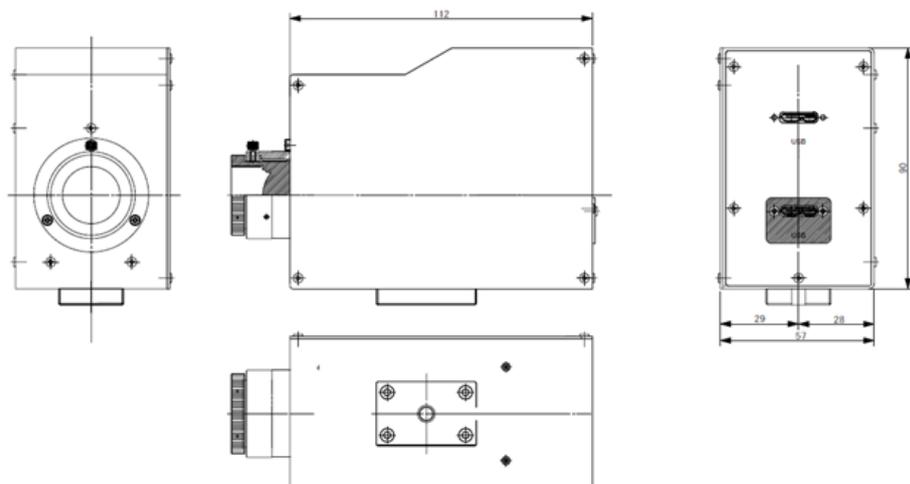
- ◆ 半導体製造工程におけるプリント基板内の放電現象
- ◆ ディスプレイの生産現場
- ◆ 化学プラント等での ESD モニタリングが必要な現場
 - ・ フィルムの剥離放電
 - ・ プラスチック製品の放電等
- ◆ 移動する作業者の ESD モニタリング
- ◆ 電動工具の静電気放電
- ◆ 静電気環境における健康被害管理
- ◆ 除電機器の効果測定
- ◆ 微小なコロナ放電の可視化

仕様(暫定)

センサ	可視映像 (B/W) 400nm~700nm	CMOS イメージセンサ 有効画素数 : 640H x 480V イメージサイズ : 6.34mm x 4.75mm
	NUV 映像 200nm~400nm	超高感度 NUV センサ 有効画素数 : 640H x 480V イメージサイズ : 6.34mm x 4.75mm
映像信号出力	USB3 (可視映像、NUV 映像) 映像出力画素数 : 640H x 480V、 フレームレート : 59.94fps (max)	
同期	内部同期	
最低被写体照度	10Lx (F2.8、50%時)	
S/N	TBD; 50dB 以上 (GAIN x1)	
ゲイン	GAIN x1/x2/x8 切替	
ガンマ補正	あり	
アイリス制御	OFF/AUTO	
電子シャッター	OFF~1/10000	
インターフェース	USB3	
レンズ	35mm、F2.8	
電源	USB より供給	
消費電流	TBD;	
動作温度/湿度	-10 °C~ +50°C/80% (結露無き事)	
保存温度/湿度	-30 °C~ +70°C/80% (結露無き事)	
外形寸法(W x H x D)	57mm(W) x 90mm(H) x 108mm(D)	
質量	660g	
製品コード	9500000	

(注) 本仕様は改善等のためお断りなく変更することがあります。

外形寸法図



株式会社ブルービジョン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-13-12

TEL:045-471-4595/ FAX:045-471-4598

E-mail: sales@bluevision.jp

URL: <http://www.bluevision.jp>

